別記１

仕　　様　　書

１　目的

県介護保険事業支援計画を含む県高齢者保健福祉計画の作成に資するため、令和７年度に市町村が実施した介護予防・日常生活圏域ニーズ調査・高齢者等実態調査の基礎データを集計・分析・加工し、高齢者等の生活状況や各種サービス量の見込み等の把握に係る基礎資料とするとともに、その基礎資料の分析を行い、介護保険対象サービス及び介護保険対象外サービス等の高齢者施策に関する課題等を把握することを目的とする。

また、作成されたデータを基に作成した県介護保険事業支援計画を含む県高齢者保健福祉計画を広く周知することを目的とする。

２　業務の内容及び実施方法等

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び高齢者等実態調査の集計・分析・加工

ア　集計用の基礎データについて

基礎データ（43 市町村から提出されたエクセル形式のデータ）については、委託者が提供する。

イ　集計・分析・加工について

各設問の単純集計及び設問間のクロス集計（別添参照）を行い、集計結果の表を作成すること。

（ア）基本的事項

①　集計に当たっては、基礎データに無回答分を含む場合、有効回答分のみで割合を算出すること。

②　すべての設問について、単純集計を行うこと。

③　基本的項目（別紙１）については、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び高齢者等実態調査の全ての質問項目とクロス集計を行うこと。

なお、重点クロス項目（別紙２）とその他のクロス項目（別紙３）については、選択された項目について、クロス集計を行うこと。

（各調査のクロス集計項目については、後述及び別添のとおり）

④　集計結果については表を作成すること。

⑤　クロス集計結果の表については、全体とクロスした項目（男女別、年齢別等）との傾向を視覚的に容易に比較できるスタイルで作成すること。

⑥　集計に当たっては、委託者が、必要な数値を容易に検索できるよう、汎用媒体（エクセル形式）で行うこと。

⑦　当初の単純集計及びクロス集計以外に委託者より追加のクロス集計等の依頼が行われた場合については、甲乙協議の上、集計結果の表をデータで提出すること。

（イ）クロス集計について

①　基本的項目（別紙１）

別紙１にあげた項目について、若年者、一般高齢者及び在宅要介護者調査の調査項目一覧表（別紙５～別紙７）のすべての調査項目とクロス集計を行うこと。

※　別紙１項目の「圏域」については．別紙４のとおり。

②　重点クロス項目（別紙２）

別紙２の①で表示している調査項目の選択した回答を抽出し、②の選択肢を横軸に③の調査項目すべてとクロス集計を行うこと。

③　その他のクロス項目（別紙３）

各項目の調査項目①と調査項目②のクロス集計を行うこと。

（ウ）集計にあたっての注意事項について

①　共通項目

・　質問事項に１つでも回答していれば有効回答とすること。
・　各設問に設定された回答数に対してそれ以上の回答がなされている場合は、数字の少ない回答番号を回答とすること。

ウ　成果物について
単純集計及びクロス集計結果については、エクセルデータをＣＤ－Ｒで提出すること。

エ　報告期限
（ア）単純集計及び基本的項目（別紙１）のクロス集計の表（エクセル形式）
令和８年７月 17 日（金）
（イ）重点クロス項目（別紙２）及びその他のクロス項目（別紙３）のクロス集計の表（エクセル形式）　令和８年７月 31 日（金）

オ　本調査に係る問い合わせ先
（ア）若年者及び一般高齢者
高齢者生き生き推進課長寿企画係
電　話：099-286-2696
Email ：c-kikaku @pref.kagoshima.lg.jp
（イ）在宅要介護者調査
高齢者生き生き推進課介護保険室保険者指導係
電　話：099-286-2674
Email ：ka-sidou @pref.kagoshima.lg.jp

(2) 調査結果の分析等

ア　調査結果の分析
調査で得られた結果や各統計に基づいて、県内高齢者等の実態や意向など総合的に傾向分析する。
分析にあたっては、令和７年国勢調査を基にした将来推計人口見通しを反映させた内容にすること。

イ　計画原稿の作成
現行計画総論第２章（Ｐ５～P36）の例により、計画の原稿を作成すること。

ウ　成果物について
作成した原稿作成については、データをＣＤ－Ｒで提出すること。

エ　報告期限
（ア）中間報告
令和８年７月 31 日（金）
（イ）最終報告
令和８年 10 月 30 日（金）

オ　調査結果の分析に係る問い合わせ先
高齢者生き生き推進課長寿企画係
電　話：099-286-2696
Email ：c-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp

(3) 県高齢者保健福祉計画の印刷等

ア　印刷部数
400 部

イ　仕様
サイズ：Ａ４冊子　210 ページ
表　紙：厚紙
本　文：フルカラー

ウ　校正回数
３回

エ　納入期限
令和９年３月 29 日（月）

オ　印刷に係る問い合わせ先
高齢者生き生き推進課長寿企画係
電　話：099-286-2696
Email ：c-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp

３　版権等

当該業務委託に係る成果物に関する版権、著作権及び所有権は、鹿児島県に帰属するものとする。なお、後日、他の媒体等で二次利用する場合についても同様とする。

４　その他

本調査の集計・分析・加工業務を適切かつ円滑に遂行するため、本仕様書に定める事項について疑義が生じたとき、又は、定めのない事項で業務に必要な事項が生じたときは、委託者・受託者双方が協議して定めるものとする。

（別紙１）

基　本　的　項　目

すべての設問（別紙５～７）について，以下の項目とクロス集計を行う。

(1)若年者

番号	項目	クロス内容	備考
1	男女	①男性②女性	
2	年齢	①40～44歳②45～49歳③50～54歳④55～59歳⑤60～64歳	
3	世帯	①独居②夫婦③夫婦と子④その他	実態調査　問１
4	健康	①とても健康②まあまあ健康③あまり健康でない④健康でない	実態調査　問17
5	圏域	①鹿児島②南薩③川薩④出水⑤姶良・伊佐⑥曽於⑦肝属⑧熊毛⑨奄美	※圏域別の対象市町村は，別紙４のとおり

(2)一般高齢者

番号	項目	クロス内容	クロス方法
1	男女	①男性②女性	
2	年齢	①65～69歳②70～74歳③75～79歳④80～84歳⑤85歳以上	
3	世帯	①独居②高齢夫婦③夫婦④子と同居⑤その他	ニーズ調査　問１（１）
4	介護	①必要ない②必要だが受けていない③受けている	ニーズ調査　問１（２）
5	健康	①とてもよい②まあよい③あまりよくない④よくない	ニーズ調査　問８（１）
6	圏域	①鹿児島②南薩③川薩④出水⑤姶良・伊佐⑥曽於⑦肝属⑧熊毛⑨奄美	※圏域別の対象市町村は，別紙４のとおり

(3)在宅要介護（要支援）者

番号	項目	クロス内容	クロス方法
1	男女	①男性②女性	
2	年齢	①40～64歳②65～69歳③70～74歳④75～79歳⑤80～84歳⑥85～89歳⑦90歳以上	
3	世帯	①独居②高齢夫婦③夫婦④子と同居⑤その他	ニーズ調査　問１（１）
4	介護	①必要ない②必要だが受けていない③受けている	ニーズ調査　問１（２）
5	健康	①とてもよい②まあよい③あまりよくない④よくない	ニーズ調査　問８（１）
6	圏域	①鹿児島②南薩③川薩④出水⑤姶良・伊佐⑥曽於⑦肝属⑧熊毛⑨奄美	※圏域別の対象市町村は，別紙４のとおり
7	介護度	①要支援１②要支援２③要介護１④要介護２⑤要介護３⑥要介護４⑦要介護５	実態調査　問55
8	日常生活自立支援	①自立②Ⅰ③Ⅱａ④Ⅱｂ⑤Ⅲａ⑥Ⅲｂ⑦Ⅳ⑧M⑨不明	実態調査　問56

（別紙２）

重点クロス項目

①は，「設問内容・選択内容」で表示している選択肢の回答を抽出し，②の設問の選択肢を横軸に③の調査項目すべてとクロス集計を行うこと。

1　単身高齢者世帯の生活実態 単身高齢者世帯の一般高齢者と要介護者の生活の実態を明らかにする。			
把握したい内容	調査名	設問番号	設問内容・選択内容　等
（１）一般高齢者			
①１人暮らし	ニーズ	問１（１）	「１　１人暮らし」を選択
①介護は必要だが受けていない者		問１（２）	「２　何らかの介護・介助は必要だが，現在は受けていない」を選択
②男性・女性	基本	性別	
②年齢別		年齢	①65～69歳②70～74歳③75～79歳④80～84歳 ⑤85歳以上
③椅子から起立の可否	ニーズ	問２（２）	
③15分連続歩行の可否		問２（３）	
③週１回以上の外出の可否		問２（６）	
③昨年比での外出回数の減の有無		問２（７）	
③外出を控えているか		問２（８）	
③「外出を控えている」理由		問２（８）①	
③外出時の移動手段		問２（９）	
③物忘れの有無		問４（１）	
③会・グループ等への参加の頻度		問５（１）①～⑧	
③現在の就労状態		問６（１）	
③あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人		問７（１）	
③あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人		問７（２）	
③病気になったときに看病や世話をしてくれる人		問７（３）	
③あなたが看病や世話をする人		問７（４）	
③相談相手		問７（５）	
③友人と会う頻度		問７（６）	
③現在の幸福度		問８（２）	
③この１ヶ月気分が沈んだり憂鬱になったか否か		問８（３）	
③この１ヶ月興味がわかない，楽しめないと感じたか否か		問８（４）	
③今後希望する生活場所	実態	問１	
③住まいや周囲の環境での困り事		問２	
③地域で行われていること		問４	
③安否確認や見守り活動の状況		問７	
③将来の生活の不安の内容		問８	
③社会参加活動への参加状況		問11	
③どのような介護を受けたいか		問18	
③在宅で介護を受けたい理由		問19	
③在宅介護の場合，介護を頼みたい相手		問20	
③最期を迎えたい場所		問23	
③内服する薬の管理		問28	
③パソコンやスマートフォンの使用の有無		問29	
③自治体が安心して暮らせる社会づくりにむけてどのようなところに力を入れるか		問26	

（２）在宅要介護者				
	①１人暮らし	ニーズ	問１（１）	「１　１人暮らし」を選択
	②男性・女性	基本	性別	
	②年齢別		年齢	①40～64歳②65～69歳③70～74歳④75～79歳 ⑤80～84歳⑥85～89歳⑦90歳以上
	③椅子から起立の可否　他17項目	ニーズ		（１）一般高齢者と同じニーズ調査項目
	③現在の就労状態		問６（１）	
	③現在の困り事（介護・医療・住まい）	実態	問18	
	③現在の困り事（生活支援）			
	③今後希望する生活場所		問19	
	③住み慣れた地域で生活するために必要なこと		問21	
	③内服する薬の管理		問25	
	③パソコンやスマートフォンの使用の有無		問26	
	③在宅介護をする上で現在困っていること（介護者）		問40	
	③在宅介護をする上での将来の不安			
	③今後の介護		問47	
２　老老介護の実態 老老介護世帯の生活実態を明らかにする。				
（１）在宅要介護者				
	①要介護者の年齢	基本	年齢	65歳以上を選択
	①家族構成	ニーズ	問１（１）	「２　夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」を選択
	①家族等からの介護の頻度	実態	問１	「１　ない」以外を選択
	①主な介護者		問２	「１　配偶者」を選択
	②男性・女性	基本	性別	
	②主な介護者の性別	実態	問３	
	②主な介護者の年齢		問４	
	②要介護度別		問55	
	③現在の幸福度	ニーズ	問８（２）	
	③在宅介護者を介護している者の状況	実態	問35～問44	介護者の回答項目すべて

3　認知症高齢者の状況 認知症の一般高齢者と在宅要介護者の生活実態を明らかにする。				
（１）一般高齢者				
	①現在治療中，または後遺症のある病気はあるか	ニーズ	問８（６）	「15　認知症（アルツハイマー病等）」を選択
	②男性・女性	基本	性別	
	③家族構成	ニーズ	問１（１）	
	③介護・介助の必要の有無		問１（２）	
	③介護・介助が必要となった原因		問１（２）①	
	③外出を控えているか		問２（８）	
	③「外出を控えている」理由		問２（８）①	
	③外出時の移動手段		問２（９）	
	③日用品の買い物の可否		問４（３）	
	③食事の用意の可否		問４（４）	
	③請求書の支払いの可否		問４（５）	
	③預貯金の出し入れの可否		問４（６）	
	③年金などの書類作成の可否		問４（７）	
	③会・グループ等への参加の頻度		問５（１）①～⑧	
	③現在の幸福度		問８（２）	
	③今後希望する生活場所	実態	問１	
	③社会参加活動への参加状況		問11	
	③自分はどのような介護を受けたいか		問18	
	③在宅で介護を受けたい理由		問19	
	③在宅介護を頼みたい相手		問20	
	③内服する薬の管理		問28	
	③パソコンやスマートフォンの使用の有無		問29	
	③認知症不安の有無及び内容		問30	
	③認知症相談窓口の把握の有無及び場所		問31	
			問33	サポーター把握の有無
	③自治体が安心して暮らせる社会づくりに向けてどのようなところに力を入れるか		問39	
	③認知症に対する認識		問35	
	③認知症に関する強化すべき取組		問36	
	③成年後見制度の認知度		問37	
	③成年後見制度を使いたいかどうか		問38	
（２）在宅要介護者				
	①現在治療中，または後遺症のある病気はあるか	ニーズ	問８（６）	「15　認知症（アルツハイマー病等）」を選択
	②男性・女性	基本	性別	
	②年齢別		年齢	①40～64歳②65～69歳③70～74歳④75～79歳 ⑤80～84歳⑥85～89歳⑦90歳以上
	③家族構成　他12項目	ニーズ	問１（１）	（１）一般高齢者と同じニーズ調査項目
	③現在の困り事（介護・医療・住まい）	実態	問18	
	③現在の困り事（生活支援）			
	③今後希望する生活場所		問19	
	③住み慣れた地域で生活するために必要なこと		問21	
	③内服する薬の管理		問25	
	③パソコンやスマートフォンの使用の有無		問26	
	③在宅介護する上で現在困っていること（介護者）		問40	
	③在宅介護する上での将来の不安			
	③今後の介護		問47	
	③認知症に対する認識		問28	
	③認知症に関する強化すべき取組		問29	
	③認知症の相談窓口		問30	
	③認知症サポーターの認知度		問31	
	③認知症サポーターに関する取組の把握		問32	
	③成年後見制度の認知度		問33	
	③成年後見制度を使いたいかどうか		問34	

4　若年者の介護予防 若年者の介護予防の意識と取組状況を明らかにする。				
（１）若年者				
	②男性・女性	基本	性別	
	②年齢別		年齢	①40～44歳②45～49歳③50～54歳④55～59歳 ⑤60～64歳
	③現在の健康状態	実態	問17	
	③「介護予防」言葉の把握及び聞いた場所		問31	
	③取り組んでみたい健康づくりの内容		問32	
	③健康づくりに実際に取り組んでいる内容		問33	
	③強化してほしい取組		問34	
5　介護予防（口腔・栄養） ６ヶ月で３キロ程度の体重減少のある人とない人の生活実態を明らかにする。				
（１）一般高齢者				
	②６ヶ月で２～３キロの体重減少の有無	ニーズ	問３（７）	
	③手すり・壁なしで階段昇りの可否		問２（１）	
	③椅子から起立の可否		問２（２）	
	③15分連続歩行の可否		問２（３）	
	③過去１年間の転倒の有無		問２（４）	
	③転倒に対する不安の大きさ		問２（５）	
	③週１回以上の外出の可否		問２（６）	
	③昨年比で外出回数の減の有無		問２（７）	
	③外出を控えていることの有無		問２（８）	
	③「外出を控えている」理由		問２（８）①	
	③外出時の移動手段		問２（９）	
	③半年前に比べて固いものが食べにくくなったか		問３（２）	
	③お茶等でむせることの有無		問３（３）	
	③歯磨きの毎日実施		問３（５）	
	③誰かと食事する頻度		問３（８）	
	③食事の用事の可否		問４（４）	
（２）在宅要介護者				
	②６ヶ月で２～３キロの体重減少があったか	ニーズ	問３（７）	
	③手すり・壁なしで階段昇りの可否　他14項目			（１）一般高齢者と同じニーズ調査項目
6　脳卒中患者の生活実態 要介護になった主な原因疾患である脳卒中患者について，生活状況を明らかにする。				
（１）在宅要介護者				
	①現在治療中，または後遺症のある病気はあるか	ニーズ	問８（６）	「３　脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」を選択
	②男性・女性	基本	性別	
	②年齢別		年齢	
	③要介護認定を申請した原因	実態	問17	
	③介護サービスの利用状況		問11	
	③介護保険サービスに対する満足度		問12	
	③介護サービスに満足している点		問13	
	③介護サービスの満足していない点		問14	
	③介護保険サービスを利用しない理由		問15	
	③現在の困り事（介護・医療・住まい）		問18	
	③現在の困り事（生活支援）			

7　ロコモティブシンドロームのハイリスク者の生活実態

ロコモティブシンドロームとは，運動器の障害により要介護になるリスクの高い状態。
要介護状態へ防止や要介護状態の重度化の防止のために介護予防に取り組むのは重要である。ロコモティブシンドロームのハイリスク者の運動機能の状況等に明らかにする。

（１）在宅要介護者

	①現在治療中，または後遺症のある病気はあるか	ニーズ	問８（６）	「10　筋骨格の病気（骨粗しょう症，関節症等）」，「11　外傷（転倒・骨折等）」を選択
	②男性・女性	基本	性別	
	②年齢別		年齢	①40～64歳②65～69歳③70～74歳④75～79歳 ⑤80～84歳⑥85～89歳⑦90歳以上
	③手すり・壁なしで階段昇りの可否	ニーズ	問２（１）	
	③椅子からの起立の可否		問２（２）	
	③15分連続歩行の可否		問２（３）	
	③過去１年間の転倒の有無		問２（４）	
	③転倒に対する不安の大きさ		問２（５）	
	③週１回以上の外出の可否		問２（６）	
	③昨年比での外出回数の減の有無		問２（７）	
	③外出を控えているか		問２（８）	
	③「外出を控えている」理由		問２（８）①	
	③外出時の移動手段		問２（９）	
	③会・グループ等への参加の頻度		問５（１）①～⑧	

8　がん（新生物）者の生活実態

がんは主な死因の一つであり，在宅での療養をすすめる上で支援策は必要である。困り事や今後の希望する生活場所を明らかにする。

（１）在宅要介護者

	①現在治療中，または後遺症のある病気はあるか	ニーズ	問８（６）	「12　がん（悪性新生物）」を選択
	②男性・女性	基本	性別	
	②年齢別		年齢	①40～64歳②65～69歳③70～74歳④75～79歳 ⑤80～84歳⑥85～89歳⑦90歳以上
	③現在の困り事（介護・医療・住まい）	実態	問18	
	③現在の困り事（生活支援）			
	③今後希望する生活場所		問19	
	③住み慣れた地域で生活するために必要なこと		問21	

9　入所希望者の生活実態

要介護度との関連や日常生活実態を明確にし，入所までの期間に必要な支援等について検討する。

（１）在宅要介護者

	①今後希望する生活場所	実態	問19	「５　高齢者対応住宅」「６　グループホーム」「７　有料老人ホーム」「８　介護保険施設」を選択
	②男性・女性	基本	性別	
	②年齢別		年齢	①40～64歳②65～69歳③70～74歳④75～79歳 ⑤80～84歳⑥85～89歳⑦90歳以上
	③介護者の性別	実態	問３	
	③介護保険サービスの利用状況		問11	
	③介護保険サービスの満足度		問12	
	③要介護認定を申請した原因		問17	
	③現在の困り事（介護・医療・住まい）		問18	
	③現在の困り事（生活支援）			
	③介護保険施設への申し込み理由		問20	
	③介護者の勤務体系		問35	
	③介護にあたっての働き方の工夫		問36	
	③仕事と介護の両立に必要な勤務先からの支援		問37	
	③今後も働きながら介護ができるか		問38	
	③介護者が不安に感じる介護		問39	
	③在宅看護する上で現在困っていること		問40	
	③在宅介護する上で将来の不安			
	③介護について相談できる相手		問41	
	③介護サービス利用に対する満足度		問42	
	③介護サービスに満足している点		問43	
	③介護サービスの不満な点		問44	
	③介護者の体調や生活状況の変化		問45	
	③介護を代行してくれる人		問46	
	③今後の介護		問47	
	③対象者の現在の要介護度		問55	
	③対象者の現在の認知症高齢者の日常生活自立度		問56	
	③対象者の初回認定時の認知症高齢者の日常生活自立度		問57	
	③現在利用しているサービス		問58	

10　在宅介護者の生活実態 仕事と介護を両立している介護者の介護の実態から，必要な支援等について検討する。				
（１）在宅要介護者				
	①介護者の勤務体系	実態	問35	「１　フルタイムで働いている」「２　パートタイムで働いている」を選択
	②男性・女性	基本	性別	
	②年齢別		年齢	①40～64歳②65～69歳③70～74歳④75～79歳 ⑤80～84歳⑥85～89歳⑦90歳以上
	②今後の介護	実態	問54	
	②要介護度別		問55	
	③介護者の性別		問３	
	③介護保険サービスの利用状況		問11	
	③介護保険サービスの満足度		問12	
	③要介護認定を申請した原因		問17	
	③現在の困り事（介護・医療・住まい）		問18	
	③現在の困り事（生活支援）			
	③介護保険施設への申し込み理由		問20	
	③介護者の勤務体系（介護者）		問35	
	③介護にあたっての働き方の工夫		問36	
	③仕事と介護の両立に必要な勤務先からの支援		問37	
	③今後も働きながら介護ができるか		問38	
	③介護者が不安に感じる介護		問39	
	③在宅看護する上で現在困っていること		問40	
	③在宅介護する上での将来の不安			
	③介護について相談できる相手		問41	
	③介護サービス利用に対する満足度		問42	
	③介護サービスに満足している点		問43	
	③介護サービスの不満な点		問44	
	③介護者の体調や生活状況の変化		問45	
	③介護を代行してくれる人		問46	
	③今後の介護		問47	比較項目「③今後の介護」とのクロス集計は不要。
	③対象者の現在の認知症高齢者の日常生活自立度		問56	
	③対象者の初回認定時の認知症高齢者の日常生活自立度		問57	
	③現在利用しているサービス		問58	
11　市町村規模別の生活環境 在宅で生活するには，衣・食・住が身近でできる環境が必要である。市町村規模により在宅で生活できる地域資源があるのが実態を調査する。				
（１）一般高齢者				
	②市町村規模別	基本		人口規模別市町村　①鹿児島市②５万人以上の市③１万人～５万人の市町④１万人以下の市町村
	③地域で行われていること	実態	問４	
	③安否確認や見守り活動の状況		問７	
	③会・グループ等への参加頻度	ニーズ	問５（１）①～⑧	
	③社会参加活動への参加状況	実態	問11	

※①は抽出項目，②は比較項目，③は抽出項目にクロスさせる項目

（別紙３）

その他のクロス項目

調査項目①（横軸）と調査項目②のクロス集計を行う。

(1)若年者

把握したい内容	番号	調査名	設問番号	設問内容
1　会，グループ及び社会活動に参加している人の意向				
（１）会・グループ	①	実態	問10（１）	ボランティアのグループへの参加頻度（参加頻度が月１回以上ある人）
会・グループ活動に参加している人の自治体への要望	②		問15	ボランティア参加促進に必要なこと
（２）社会参加活動や仕事	①	実態	問11（１）～（４）	社会参加活動や仕事の頻度（参加頻度が月１回以上ある人）
社会参加活動等に参加している人の自治体への要望	②		問15	ボランティア参加促進に必要なこと
2　つながりのある地域の状況				
（１）参加団体の状況	①	実態	問６	地域で行われていること
つながりのある地域の参加団体の状況	②		問10（１）～（５）	ボランティアのグループへの参加頻度 （参加頻度が月１回以上ある人）
			問11（１）～（４）	社会参加活動や仕事の頻度 （参加頻度が月１回以上ある人）
（２）就労の有無	①	実態	問６	地域で行われていること
つながりのある地域の就労状況	②		問11（５）	社会参加活動や仕事の頻度
（３）不安心配事の有無	①	実態	問６	地域で行われていること
つながりのある地域の認知症への不安	②		問36	認知症不安の有無及び内容
3　将来希望する生活場所や介護				
（１）今後希望する生活場所	①	実態	問３	今後希望する生活場所
将来（高齢期）希望する生活場所と地域の見守り状況等との相関	②		問５	地域のつながりの程度
			問７	安否確認や見守り活動の状況
（２）どのような介護を受けたいか	①	実態	問24	自分はどのような介護を受けたいか
受けたい介護と地域の見守り状況等との相関	②		問５	地域のつながりの程度
			問７	安否確認や見守り活動の状況
			問28	受けたい医療等の家族との話し合いの有無
（３）ＡＣＰの認知度	①	実態	問27	ＡＣＰへの認知度
ＡＣＰと最後を迎えたい場所，最後に受けたい医療・療養の情報源との相関	②		問29	最期を迎えたいと思う場所
			問30	最期に受けたい医療・療養に関する情報源の希望
（４）最期を迎えたい場所	①	実態	問29	最期を迎えたいと思う場所
最期を迎えたい場所と地域の見守り状況等との相関	②		問３	今後希望する生活場所
			問５	地域のつながりの程度
			問７	安否確認や見守り活動の状況
			問28	受けたい医療等の家族との話し合いの有無
4　認知症について				
（１）参加団体の状況	①	実態	問35	家族に認知症の症状のある人の有無
家族に認知症の症状がある人の有無による実態	②		問36	認知症不安の有無及び内容
			問37	認知症相談窓口の把握の有無及び場所
			問38	認知症の方がいる場合の対応
			問39	若年性認知症の周知状況について
			問40	認知症サポーターの認知度及び養成講座の受講状況
			問41	認知症サポーター養成講座受講後の活動状況
			問42	認知症に対しての認識
			問43	認知症に関する強化してほしい取組
			問44	成年後見制人制度についての認識
			問45	成年後見人制度を使いたいかどうか
（２）サポーター養成講座の活動	①	実態	問40	認知症サポーターの認知度及び養成講座の受講状況 把握（1.「有」の人のみ）
	②		問41	認知症サポーター養成講座受講後の活動状況

(2)一般高齢者

把握したい内容	番号	調査名	設問番号	設問内容
1　会，グループ及び社会活動に参加している人の意向				
（１）会・グループ	①	ニーズ	問５（１）①～⑧	会・グループ等への参加の頻度
会・グループ活動に参加している人の自治体への要望	②	実態	問14	参加促進に必要なこと
		ニーズ	問２（９）	外出時の移動手段
（２）社会参加活動や仕事	①	実態	問11	社会活動への参加状況
社会参加活動等に参加している人の自治体への要望	②		問14	参加促進に必要なこと
2　会，グループ及び社会参加を行っている人のいる地域の実態				
（１）地域で行われていること	①	ニーズ	問５（１）①～⑧	会・グループ等への参加の頻度
会・グループ活動に参加している人の地域はつながりがあるか	②	実態	問４	地域で行われていること
（２）社会参加活動や仕事	①	実態	問11	社会活動への参加状況
社会活動等に参加している人の地域はつながりがあるか	②		問４	地域で行われていること
（３）安否確認や見守り活動の状況	①	ニーズ	問５（１）①～⑧	会・グループ等への参加の頻度
会・グループ活動に参加している人の地域は見守り活動が行われているか	②	実態	問７	安否確認や見守り活動の状況
（４）社会参加活動や仕事	①	実態	問11	社会活動への参加状況
社会活動等に参加している人の地域は見守り活動が行われているか	②		問７	安否確認や見守り活動の状況
3　今後生活をしたい場所，最期を迎えたい場所と地域の実態等との相関				
（１）今後希望する生活場所	①	ニーズ	問７（５）	家族・友人以外の相談相手
	②	実態	問３	地域のつながりの意識
			問７	安否確認や見守り活動の状況
			問９	生きがいの程度
（２）最期を迎えたい場所	①	実態	問23	最期を迎えたい場所
	②	実態	問４	地域で行われていること
			問１	今後希望する生活場所
		ニーズ	問７（５）	家族・友人以外の相談相手
		実態	問３	地域のつながりへの意識
			問７	安否確認や見守り活動の状況
			問９	生きがいの程度
			問18	自分はどのような介護を受けたいか
			問21	ＡＣＰへの認知度
			問22	受けたい医療等の家族との話し合いの有無
4　高齢者の安否確認や見守り活動が活発な地域での状況				
（１）たすけあいの状況	①	実態	問７	安否確認や見守り活動の状況
地域で支え合い活動が活発な地域でのたすけあいの状況	②	ニーズ	問７（１）	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人
			問７（３）	病気になったときに看病や世話をしてくれる人
（２）社会参加活動の状況	①	実態	問７	安否確認や見守り活動の状況
地域支え合い活動が活発な地域での社会参加活動状況	②		問11	社会活動への参加状況
（３）就労の有無	①	実態	問７	安否確認や見守り活動の状況
地域支え合い活動が活発な地域での就労の有無の状況	②	ニーズ	問５（１）⑧	収入のある仕事
（４）治療中の疾患の有無	①	実態	問７	安否確認や見守り活動の状況
地域支え合い活動が活発な地域における人の治療中疾患の有無の状況	②	ニーズ	問８（６）	治療中又は後遺症のある病気の有無
（５）最期を迎えたい場所	①	実態	問７	安否確認や見守り活動の状況
地域支え合い活動が活発な地域における人の最期を迎えたい場所の意向	②		問23	最期を迎えたい場所

5　高齢者の生きがいの有無や幸福度の現状				
（１）生きがいの有無 生きがいの有無と地域づくりへの参加意欲の相関	①	ニーズ	問４（９）	生きがいの有無
	②		問５（２）	地域づくりへの参加意欲
			問５（３）	地域づくりの企画・運営への参加意欲
（２）現在の幸福度 幸福度と健康度，社会参加，地域づくり等との相関	①	ニーズ	問７（２）	現在の幸福度
	②		問５（１）①~⑧	会・グループ等への参加の頻度
			問７（１）	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人
			問７（２）	あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人
			問７（３）	病気になったときに看病や世話をしてくれる人
			問７（４）	あなたが看病や世話をする人
			問７（５）	家族・友人以外の相談相手
			問７（６）	友人・知人と会う頻度
			問７（７）	１ヶ月間，何人の友人・知人と会ったか
		実態	問１	今後希望する生活場所
			問７	安否確認や見守り活動の状況
			問９	生きがいの程度
			問18	自分はどのような介護を受けたいか
			問22	自身への医療について家族との話し合いの有無
			問23	最期を迎えたい場所
			問29	パソコンやスマートフォンの使用の有無
（３）気分が沈んだり憂鬱になったりするか 抑うつ状況と周囲の助け合いの状況との相関	①	ニーズ	問８（３）	この１ヶ月で気分が沈んだり憂鬱になったか否か
	②		問７（１）	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人
			問７（２）	あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人
			問７（３）	病気になったときに看病や世話をしてくれる人
			問７（４）	あなたが看病や世話をする人
			問７（５）	家族・友人以外の相談相手
			問７（６）	友人・知人と会う頻度
			問７（７）	１ヶ月間，何人の友人・友人と会ったか
（４）興味がわかない，楽しめないと感じるか 抑うつ状況と周囲の助け合い状況との相関	①	ニーズ	問８（４）	この１ヶ月で興味がわかない，楽しめないと感じたか否か
	②		問７（１）	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人
			問７（２）	あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人
			問７（３）	病気になったときに看病や世話をしてくれる人
			問７（４）	あなたが看病や世話をする人
			問７（５）	家族・友人以外の相談相手
			問７（６）	友人・知人と会う頻度
			問７（７）	１ヶ月間，何人の友人・知人と会ったか
（５）生きがいを感じるとき 生きがいの有無と社会活動への参加状況の相関	①	実態	問10	生きがいを感じるとき
	②		問11	社会参加活動への参加状況
			問12	社会参加活動してよかったこと （問11で「１」～「９」と回答した人）
			問13	社会参加活動してよかったこと （問11で「10」と回答した人）
			問29	パソコンやスマートフォンの使用の有無
（６）スマートフォン等使用の影響 パソコンやスマートフォンの使用の有無と生きがいや社会参加との相関	①	実態	問29	パソコンやスマートフォンの使用の有無
	②		問９	生きがいの程度
			問11	社会参加活動への参加状況
6　将来受けたい介護・医療				
（１）病気になったときに世話をしてくれる人がいるか	①	ニーズ	問７（３）	病気になったときに看病や世話をしてくれる人
	②	実態	問18	自分はどのような介護を受けたいか
			問22	受けたい医療等の家族との話し合いの有無
			問23	最期を迎えたい場所
（２）今後どのような介護を受けたいか	①	ニーズ	問７（５）	家族・友人以外の相談相手
	②	実態	問３	地域のつながりへの意識
			問７	安否確認や見守り活動の状況
			問９	生きがいの程度
7　認知症について				
（１）家族による認知症の症状がある人の有無	①	ニーズ	問９（１）	認知症の症状
	②	実態	問30	認知症不安の有無及び内容
			問31	認知症相談窓口の把握の有無及び場所
			問32	認知症の方がいる場合の対応
			問33	認知症サポーターの理解度及び養成講座の受講状況
			問34	認知症サポーター養成講座受講後の活動状況
（２）サポーターの活動	①	実態	問33	「認知症サポーター」の把握の有無，把握（1.「有」の人のみ）
	②		問34	受講後の活動
8　ＡＣＰの周知方法				
	①	実態	問21	ＡＣＰへの認知度
	②		問24	最期に受けたい医療・療養に関する情報源の希望
9　物忘れと服薬管理等				
	①	ニーズ	問４（１）	物忘れの有無
	②	実態	問28	内服する薬の管理
			問29	パソコンやスマートフォンの使用の有無
10　就労と健康について				
	①	ニーズ	問６（１）	現在の就労状態
	②	ニーズ	問８（１）	普段の健康状態
			問８（２）	現在の幸福度

(3)在宅要介護者

把握したい内容	番号	調査名	設問番号	設問内容
1　介護・介助の必要の有無				
普段の生活で介護・介助を必要とするか	①	ニーズ	問１（２）	普段の生活で介護・介助が必要か
	②	実態	問15	介護保険サービスを利用しない理由
			問18	現在の困り事（１）（２）
2　閉じこもりの傾向				
閉じこもりの傾向	①	ニーズ	問２（８）	外出を控えていることの有無
	②		問２（６）	週１回以上の外出の可否
		実態	問18	現在の困り事（１）（２）
			問19	今後希望する生活場所（本人）
			問21	住み慣れた地域で生活するために必要なこと
3　会・グループの参加頻度				
社会参加の状況と困りごとを解決する環境	①	ニーズ	問５（１）①～⑧	会・グループ等への参加の頻度
	②		問４（９）	生きがいの有無
			問７（５）	家族・友人以外の相談相手
		実態	問18	現在の困り事（１）（２）
			問21	住み慣れた地域で生活するために必要なこと
4　要介護者と周囲の「たすけあい」				
要介護者を支える環境	①	ニーズ	問７（１）	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人
	②		問７（２）	あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人
			問７（５）	家族・友人以外の相談相手
		実態	問19	今後希望する生活場所（本人）
			問20	介護保険施設（特養等）への申込み理由
5　要介護者と周囲の「たすけあい」（２）				
要介護者を支える環境	①	ニーズ	問７（３）	病気になったときに看病や世話をしてくれる人
	②		問７（４）	あなたが看病や世話をする人
			問７（５）	家族・友人以外の相談相手
		実態	問10	訪問診療利用の有無
			問19	今後希望する生活場所（本人）
			問20	介護保険施設（特養等）への申込み理由
			問23	受けたい医療等の家族との話し合いの有無
6　サービス利用控えの状況				
・介護を必要としながら利用していない状況 ・サービス未利用の場合の状態の変化	①	実態	問15	サービスを利用しない理由
	②	ニーズ	問１（２）	介護・介助の必要の有無
			問７（５）	家族・友人以外の相談相手
		実態	問18	現在の困り事（１）（２）
			問39	介護者が不安に感じる介護
			問45	介護者の体調や生活状況の変化
7　日常生活での心がけ				
	①	実態	問16	日常生活上での心がけ
	②	ニーズ	問１（２）①	介護・介助が必要になった原因
8　現在の困り事（介護・医療・住まい）				
困りごとと助け合いの体制・今後必要な施策	①	実態	問18（１）	現在の困りごと（介護・医療・住まい）
	②	ニーズ	問１（２）①	介護・介助が必要になった主な原因
			問７（３）	数日間寝込んだ際に看病や世話をしてくれる人
			問７（５）	家族や友人・知人以外の相談相手
		実態	問19	今後希望する生活場所（本人）
			問21	住み慣れた地域で生活するために必要なこと
9　現在の困り事（生活支援）				
困りごとと助け合いの体制・今後必要な施策	①	実態	問18（２）	現在の困りごと（生活支援）
	②	ニーズ	問１（２）①	介護・介助が必要になった主な原因
			問７（３）	数日間寝込んだ際に看病や世話をしてくれる人
			問７（５）	家族や友人・知人以外の相談相手
		実態	問19	今後希望する生活場所（本人）
			問21	住み慣れた地域で生活するために必要なこと

10　今後希望する生活場所				
今後希望する生活場所と経済状況や介護者の意向の相関	①	実態	問19	今後希望する生活場所（本人）
	②	ニーズ	問１（１）	家族構成
			問１（３）	現在の暮らしの経済的状況
			問１（４）	住まいの一戸建て・集合住宅の別
			問７（５）	家族や友人以外の相談相手
			問８（１）	普段の健康状態
		実態	問10	訪問診療の利用の有無
			問12	介護保険サービス利用に対する満足度（本人）
			問42	サービス利用に対する満足度（介護者）
			問18	現在の困り事（１）（２）
			問21	住み慣れた地域で生活をするために必要なこと
			問23	受けたい医療等の家族との話し合いの有無
			問45	介護者の体調や生活状況の変化
			問47	今後の介護
			問58	現在利用しているサービス
11　特養入所申込み状況				
施設の申込理由と背景分析 →　在宅限界を高める	①	実態	問20	介護保険施設（特養等）への申込み理由
	②	ニーズ	問１（２）①	介護・介助が必要になった原因
		実態	問18	現在の困り事（１）（２）
			問19	今後希望する生活場所（本人）
			問40	介護者の困りごと・将来の不安
			問45	介護者の体調や生活状況の変化
			問58	現在利用しているサービス
12　住み慣れた地域で暮らし続けるのに必要なこと				
在宅限界を高める	①	実態	問21	地域で暮らし続けるのに必要なこと
	②	ニーズ	問７（５）	家族や友人以外の相談相手
		実態	問12	サービスの満足度（本人）
			問18	現在の困り事（１）（２）
			問19	今後希望する生活場所（本人）
			問40	介護者の困りごと・将来の不安
13　生きがいの有無や幸福度の現状				
	①	ニーズ	問８（２）	現在の幸福度
	②		問４（９）	生きがいの有無
			問５（１）①～⑧	会・グループ等への参加の頻度
			問７（１）	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人
			問７（３）	病気になったときに看病や世話をしてくれる人
			問７（５）	家族や友人以外の相談相手
		実態	問19	今後希望する生活場所（本人）
			問23	受けたい医療等の家族との話し合いの有無
14　受けたい医療と受けたくない医療について家族との話し合いと今後の介護方針				
	①	実態	問23	受けたい医療等の家族との話し合いの有無
	②		問10	訪問診療の利用の有無
			問47	今後の介護
15　介護保険料の仕組みについての理解度				
介護保険料の仕組みとサービスの満足度の相関	①	実態	問27	介護保険料の仕組みについての理解度
	②		問12	介護保険サービス利用に対する満足度（本人）
16　在宅介護者の介護サービスに対する不満				
	①	実態	問42	サービス利用に対する満足度（選択肢「４」「５」を選択）
	②		問40	介護者の困りごと・将来の不安
			問41	介護についての相談相手
			問44	満足していない点（介護者）
			問46	介護を代行してくれる人
			問47	今後の介護

17　在宅介護者の困りごと・将来の不安				
	①	実態	問40	介護者の困りごと・将来の不安
	②	ニーズ	問１（２）①	介護・介助が必要になった原因
		実態	問19	今後希望する生活場所（本人）
			問20	介護保険施設（特養等）への申込み理由
			問41	介護についての相談相手
			問42	サービス利用に対する満足度（介護者）
			問47	今後の介護
18　介護者の体調や生活状況の変化				
	①	実態	問45	介護者の体調や生活状況の変化
	②		問19	今後希望する生活場所（本人）
			問20	介護保険施設（特養等）への申込み理由
			問40	介護者の困りごと・将来の不安
			問41	介護についての相談相手
			問46	介護を代行してくれる人
19　介護について相談できる相手				
	①	実態	問41	介護についての相談相手
	②		問45	介護者の体調や生活状況の変化
			問47	今後の介護
20　介護できない数日代わってくれる相手				
	①	実態	問46	介護を代行してくれる人
	②		問41	介護についての相談相手
21　今後の介護の動向				
	①	実態	問47	今後の介護の方針
	②	ニーズ	問１（２）①	介護・介助が必要になった原因
		実態	問18	現在の困り事（１）（２）
			問19	今後希望する生活場所（本人）
			問40	介護者の困りごと・将来の不安
			問42	サービス利用に対する満足度（介護者）
22　要介護認定等に関すること				
	①	実態	問55	対象者の現在の要介護度
	②		問９	現在抱えている傷病
			問17	要介護認定を申請した原因
23　ＡＣＰの周知方法				
	①	実態	問22	ＡＣＰへの認知度
	②		問24	最後に受けたい医療・療養に関する情報源の希望
24　物忘れと服薬管理等				
	①	ニーズ	問４（１）	物忘れの有無
	②	実態	問25	内服する薬の管理
			問26	パソコンやスマートフォンの使用の有無
25　就労と健康について				
	①	ニーズ	問６（１）	現在の就労状態
	②	ニーズ	問８（１）	普段の健康状態
			問８（２）	現在の幸福度

（別紙４）

○　鹿児島県の高齢者保健福祉圏域（９圏域）の設定

圏域名	対象市町村	市町村数
鹿児島	鹿児島市，いちき串木野市， 日置市，三島村，十島村	5
南薩	枕崎市，指宿市，南さつま市， 南九州市	4
川薩	薩摩川内市，さつま町	2
出水	阿久根市，出水市，長島町	3
姶良・伊佐	霧島市，伊佐市，姶良市， 湧水町	4
曽於	曽於市，志布志市，大崎町	3
肝属	鹿屋市，垂水市，東串良町， 錦江町，南大隅町，肝付町	6
熊毛	西之表市，中種子町，南種子町， 屋久島町	4
奄美	奄美市，大和村，宇検村， 瀬戸内町，龍郷町，喜界町， 徳之島町，天城町，伊仙町， 和泊町，知名町，与論町	12
９圏域		43

（別紙５）

【令和7年版】高齢者等実態調査（若年者）　調査項目

高齢者実態調査【県調査】（若年者（40～64歳））	
1	世帯類型
日常生活の様子について	
2	住まいの種類
3	今後希望する生活場所
4	将来の生活不安の有無及び内容
ふだんの近所づきあいについて	
5	地域のつながりの程度
6	地域で行われていること
7	安否確認や見守り活動の状況
社会参加・生きがいについて	
8	生きがいの程度
9	生きがいを感じるとき
10	会・グループ等への参加頻度
11	社会参加活動や仕事の頻度
12	あなたとまわりの人の「たすけあい」について
13	何かあったときの相談相手
14	今後の地域活動等への参加意向
15	ボランティア参加促進に必要なこと
就労について	
16	就労の有無及び引退年齢に対する考え
健康について	
17	現在の健康状態
介護保険について	
18	介護保険料の仕組みの理解度
19	給付と負担のバランスの考え
20	介護の経験の有無
21	介護による就労中断の有無
22	就労中断の年齢
23	ダブルケアの経験の有無
24	自分はどのような介護を受けたいか
25	在宅で介護を受けたい理由
26	在宅介護を頼みたい相手
27	ＡＣＰへの認知度
28	受けたい医療等の家族との話し合いの有無
29	最期を迎えたいと思う場所
30	最期に受けたい医療・療養に関する情報源の希望
介護予防への取組について	
31	「介護予防」の言葉の把握及び聞いた場所
32	取り組んでみたい健康づくりの内容
33	健康づくりに実際に取り組んでいる内容
34	強化してほしい取組
認知症について	
35	家族に認知症の症状のある人の有無
36	認知症不安の有無及び内容
37	認知症相談窓口の把握の有無及び場所
38	認知症の方がいる場合の対応
39	若年性認知症の周知状況について
40	認知症サポーターの認知度及び養成講座の受講状況
41	認知症サポーター養成講座受講後の活動状況
42	認知症に対しての認識
43	認知症に関する強化してほしい取組
権利擁護について	
44	成年後見人制度についての認知度
45	成年後見人制度を使いたいかどうか
高齢社会対策への取組について	
46	自治体に強化してほしい取り組み

（別紙６）

【令和7年版】介護予防・日常生活圏域ニーズ調査／高齢者等実態調査（一般高齢者）　調査項目

1　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（対象者：一般高齢者（65歳以上））		
問１　あなたのご家族や生活状況について（６問）		
	1	家族構成
	2	介護・介助の必要の有無
	2-1	介護・介助が必要となった原因
	2-2	介護・介助をしてくれる人
	3	現在の暮らしの経済的状況
	4	住まいの１戸建て・集合住宅の別
問２　からだを動かすことについて（１０問）		
	1	手すり・壁なしで階段昇りの可否
	2	椅子から起立の可否
	3	15分連続歩行の可否
	4	過去１年間の転倒の有無
	5	転倒に対する不安の大きさ
	6	週１回以上の外出の可否
	7	昨年比での外出回数の減の有無
	8	外出を控えていることの有無
	8-1	外出を控えている理由
	9	外出時の移動手段
問３　食べることについて（９問）		
	1	身長・体重
	2	半年前に比べた固いものの食べにくさの有無
	3	お茶・汁物等でむせることの有無
	4	口の渇き
	5	歯磨きの毎日実施
	6	歯の数と入れ歯使用の有無
	6-1	毎日の入れ歯の手入れの有無
	7	６ヶ月で２～３kgの体重減少の有無
	8	誰かと食事をする頻度
問４　毎日の生活について（９問）		
	1	物忘れの有無
	2	バス・電車・自家用車による１人での外出の有無
	3	日用品の買い物の可否
	4	食事の用意の可否
	5	請求書の支払いの可否
	6	預貯金の出し入れの可否
	7	年金などの書類作成の可否
	8	趣味の有無
	9	生きがいの有無

問５　地域での活動について（10問）		
	1	会・グループ等への参加の頻度
	1-①	ボランティアグループ
	1-②	スポーツ関係グループ・クラブ
	1-③	趣味関係グループ
	1-④	学習・教養サークル
	1-⑤	介護予防のための通いの場
	1-⑥	老人クラブ
	1-⑦	町内会・自治会
	1-⑧	収入のある仕事
	2	地域づくりへの参加意欲
	3	地域づくりの企画・運営への参加意欲
問６　地域での活動について（２問）		
	1	現在の就労状態
	1-①	就労の引退時期
問７　たすけあいについて（７問）		
	1	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人
	2	あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人
	3	病気になったときに看病や世話をしてくれる人
	4	あなたが看病や世話をする人
	5	家族・友人以外の相談相手
	6	友人・知人と会う頻度
	7	１ヶ月間，何人の友人・知人と会ったか
問８　健康について（６問）		
	1	普段の健康状態
	2	現在の幸福度
	3	この１ヶ月で気分が沈んだり憂鬱になったか否か
	4	この１ヶ月で興味がわかない，楽しめないと感じたか否か
	5	喫煙の有無
	6	治療中又は後遺症のある病気の有無
問９　認知症にかかる相談窓口の把握について（２問）		
	1	認知症の症状
	2	認知症の相談窓口

２　高齢者実態調査【県調査】（一般高齢者（65歳以上））	
1	今後希望する生活場所
2	住まいの困り事
3	地域のつながりへの意識
4	地域で行われていること
安全・安心な暮らしについて	
5	自力避難の可否
6	緊急時の介助人の有無
7	安否確認や見守り活動の状況
8	将来の生活不安の内容
社会参加・生きがいについて	
9	生きがいの程度
10	生きがいを感じるとき
11	社会参加活動への参加状況
12	社会参加活動してよかったこと
13	参加していない理由
14	参加促進に必要なこと
就労について	
15	就労の有無及び引退希望年齢
16	働く理由
介護保険について	
17	介護保険料の仕組みと理解度
18	自分はどのような介護を受けたいか
19	在宅で介護を受けたい理由
20	在宅介護の場合，在宅介護を頼みたい相手
21	ＡＣＰへの認知度
22	受けたい医療等の家族との話し合いの有無
23	最期を迎えたい場所
24	最期に受けたい医療・療養に関する情報源の希望
介護予防への取組について	
25	「介護予防」の言葉の把握
26	強化してほしい取組
27	日常生活上での心がけ
28	内服する薬の管理
29	パソコンやスマートフォンの使用の有無
認知症について	
30	認知症不安の有無及び内容
31	認知症相談窓口の把握の有無及び場所
32	認知症の方がいる場合の対応
33	認知症サポーターの理解度及び養成講座の受講状況
34	認知症サポーター養成講座受講後の活動状況
35	認知症に対する認識
36	認知症に関する強化すべき取組
権利擁護について	
37	成年後見制度の認知度
38	成年後見制度を使いたいかどうか
高齢社会対策への取組等について	
39	自治体に強化してほしい取り組み

（別紙７）

【令和7年版】介護予防・日常生活圏域ニーズ調査／高齢者等実態調査（在宅要介護者）　調査項目

１　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（対象者：一般高齢者・在宅要介護（要支援）者）		
問１　あなたのご家族や生活状況について（６問）		
	1	家族構成
	2	介護・介助の必要の有無
	2-1	介護・介助が必要となった原因
	2-2	介護・介助をしてくれる人
	3	現在の暮らしの経済的状況
	4	住まいの１戸建て・集合住宅の別
問２　からだを動かすことについて（１０問）		
	1	手すり・壁なしで階段昇りの可否
	2	椅子から起立の可否
	3	15分連続歩行の可否
	4	過去１年間の転落の有無
	5	転倒に対する不安の大きさ
	6	週１回以上の外出の可否
	7	昨年比での外出回数の減の有無
	8	外出を控えていることの有無
	8-1	外出を控えている理由
	9	外出時の移動手段
問３　食べることについて（９問）		
	1	身長・体重
	2	半年前に比べた固いものの食べにくさの有無
	3	お茶・汁物等でむせることの有無
	4	口の渇き
	5	歯磨きの毎日実施
	6	歯の数と入れ歯使用の有無
	6-1	毎日の入れ歯の手入れの有無
	7	６ヶ月で２～３kgの体重減少の有無
	8	誰かと食事をする頻度
問４　毎日の生活について（９問）		
	1	物忘れの有無
	2	バス・電車・自家用車による１人での外出の有無
	3	日用品の買い物の可否
	4	食事の用意の可否
	5	請求書の支払いの可否
	6	預貯金の支払いの可否
	7	年金などの書類作成の可否
	8	趣味の有無
	9	生きがいの有無

問５　地域での活動について（10問）		
	1	会・グループ等への参加の頻度
	1-①	ボランティアグループ
	1-②	スポーツ関係グループ・クラブ
	1-③	趣味関係グループ
	1-④	学習・教養サークル
	1-⑤	介護予防のための通いの場
	1-⑥	老人クラブ
	1-⑦	町内会・自治会
	1-⑧	収入のある仕事
	2	地域づくりへの参加意欲
	3	地域づくりの企画・運営への参加意欲
問６　就労について（２問）		
	1	就労状態について
	1-①	引退した時期
問７　たすけあいについて（７問）		
	1	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人
	2	あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人
	3	病気になったときに看病や世話をしてくれる人
	4	あなたが看病や世話をする人
	5	家族・友人以外の相談相手
	6	友人・知人と会う頻度
	7	１ヶ月間，何人の友人・知人と会ったか
問８　健康について（６問）		
	1	普段の健康状態
	2	現在の幸福度
	3	この１ヶ月で気分が沈んだり憂鬱になったか否か
	4	この１ヶ月で興味がわかない，楽しめないと感じたか否か
	5	喫煙の有無
	6	治療中又は後遺症のある病気の有無
問９　認知症にかかる相談窓口の把握について（２問）		
	1	認知症の症状の有無
	2	認知症の相談窓口の把握の有無

２　高齢者実態調査【県調査】（在宅要介護（要支援）者）		
本人の回答		
	1	家族等からの介護の頻度
	2	主な介護者
	3	主な介護者の性別
	4	主な介護者からの年齢
	5	主な介護者が行っている介護の内容
	6	家族等の介護離職の状況
	7	介護保険サービス以外で利用している支援・サービス
	8	在宅生活の継続に必要な支援・サービス
	9	現在抱えている傷病
	10	訪問診療の利用の有無
	11	介護保険サービスの利用状況
	12	介護保険サービス利用に対する満足度（本人）
	13	満足している点（本人）
	14	満足していない点（本人）
	15	介護保険サービスを利用しない理由
	16	日常生活上での心がけ
	17	要介護認定を申請した原因
	18	現在の困り事（介護・医療・住まい）
		現在の困り事（生活支援）
	19	今後希望する生活場所（本人）
	20	介護保険施設（特養等）への申込み理由
	21	住み慣れた地域で生活するために必要なこと
	22	ＡＣＰへの認知度
	23	受けたい医療等の家族との話し合いの有無
	24	最後に受けたい医療・療養に関する情報源の希望
	25	内服する薬の管理
	26	パソコンやスマートフォンの使用の有無
	27	介護保険料の仕組みについての理解度
	28	認知症に対する認識
	29	認知症に関する強化すべき取り組み
	30	認知症の相談窓口
	31	認知症サポーターの認知度
	32	認知症サポーターに関する取組の把握
	33	成年後見制度の認知度
	34	成年後見制度を使いたいかどうか

介護者の回答		
	35	介護者の勤務体系
	36	介護にあたっての働き方の工夫
	37	仕事と介護の両立に必要な勤務先からの支援
	38	今後も仕事と介護の両立が可能か
	39	介護者が不安に感じる介護
	40	在宅介護をする上で現在困っていること
		在宅介護をする上での将来の不安
	41	介護についての相談相手
	42	サービス利用に対する満足度（介護者）
	43	満足している点（介護者）
	44	満足していない点（介護者）
	45	介護者の体調や生活状況の変化
	46	介護を代行してくれる人
	47	今後の介護
	48	認知症に対する認識
	49	認知症に関する強化すべき取り組み
	50	認知症の相談窓口
	51	認知症サポーターの認知度
	52	認知症サポーターに関する取組の把握
	53	成年後見制度の認知度
	54	成年後見制度を使いたいかどうか
保険者記入		
	55	対象者の現在の要介護度
	56	対象者の現在の認知症高齢者の日常生活自立度
	57	対象者の初回認定時の認知症高齢者の日常生活自立度
	58	現在利用しているサービス